

SENDAI NEW PHILHARMONIC ORCHESTRA 47th Concert

仙台ニューフィルハーモニー
第47回定期演奏会

WAGNER Tristan und Isolde

リヒャルト・ヴァーグナー
《トリスタンとイゾルデ》より「前奏曲」と「愛の死」

FALLA El Sombrero de Tres Picos

マヌエル・デ・ファリャ
バレエ音楽《三角帽子》第1組曲、第2組曲

DVOŘÁK Symphony No.8

アントニン・ドヴォルジャーク
交響曲第8番ト長調

楽譜協力：トヨタミュージックライブラリー

Conductor
HOSHINA Hiroshi
指揮：保科 洋

2008. **4.26.** [Sat]

18:00開場 18:30開演

東京エレクトロンホール宮城〔宮城県民会館〕
全席自由 一般 ¥1,000 / 高校生以下 ¥500

主催 仙台ニューフィルハーモニー管弦楽団

問い合わせ 仙台ニューフィルハーモニー事務局 (022-234-0701 山路方)・仙台ニューフィルハーモニー HP (<http://sendainewphil.client.jp/>)

プレイガイド 藤崎 (022-261-5111)・エスバル仙台店パルショップ (022-225-1046)・(株)ヤマハミュージック東北仙台店 (022-227-8513)
カワイミュージックショップ仙台 (022-221-4251)・(株)サンリツ楽器仙台本店 (022-265-6211)・宮城県民会館 (022-225-8641)

後援 宮城県・仙台市・宮城県教育委員会・仙台市教育委員会・(財)宮城県文化振興財団・(財)仙台市市民文化事業団・河北新報社・朝日新聞仙台支局
毎日新聞仙台支局・読売新聞東北総局・産経新聞東北総局・仙台リビング新聞社・MBC仙台放送局・TBC東北放送・三洋テレビ・Date fm

S-style・FM76.3
RADIO3



指揮/保科 洋

1960年、東京芸術大学作曲科卒、卒業作品にてその年の第29回毎日音楽コンクール作曲部門(管弦楽)で第1位を受賞する。

以後、本格的に作曲活動を始めると同時に、東京音楽大学、愛知県立芸術大学、兵庫教育大学で教鞭をとり、2001年3月に兵庫教育大学を定年退職する。

作品は管弦楽曲、オペラ、吹奏楽曲、室内楽曲、合唱曲、ミュージカルなど幅広いが、特に吹奏楽曲では日本を代表する作曲家の一人として知られ、作品のいくつかはアメリカで課題曲に登録されるなど世界各国で演奏されている。1991年には、日本吹奏楽学会アカデミー賞(作曲者賞)を、現存する作曲家では最初に受賞している。

指揮活動もシエナ・ウインドオーケストラをはじめ幅広く行っているが、特に、アマチュアを対象とした指導法はそのユニークな演奏解釈理論とともに定評があり、岡山大学交響楽団の常任指揮者を40年以上の長きに亘って続け、日本有数の大学オーケストラに育て上げるかたわら、客演指揮者としても全国各地のオーケストラや吹奏楽団体で活躍している。

兵庫教育大学名誉教授、作陽音楽大学客員教授、浜松アクト音楽院音楽監督。

■ 著書、CD等

VHS、DVD「音楽指導者のための指揮法」1997年、2007年 ビクター・エンタテインメント社

著書「生きた音楽表現へのアプローチ」1998年 音楽之友社

作品集CD「風紋」1999年 Brain Music社

DVD「保科洋のすぐに役立つ演奏の隠し味」2005年 日本パルス社

DVD「保科洋×指揮・展覧会の絵」2007年 日本パルス社

■ 主な作品

オペラ「はだしのゲン」、オーケストラのためのバリエーション、古祝、祝典舞曲、カタストロフィー、シンフォニック・オード、響宴I・II、愁映、メモアール、パストラーレ、風紋、アルビレオ、懐想譜、テューバと吹奏楽のための「コンチェルティーノ」、ユーフォニアムとピアノのための「ファンタジー」、レクイエム1995(阪神大震災を悼んで)、ファゴットと吹奏楽のための「薄明かりの歌」、オーボエとピアノのための「祈りそして戯れ」、ホルンとオーケストラのための「巫女の舞」、他

仙台ニューフィルハーモニー

1981年9月、約20名の弦楽器奏者で創立された仙台ニューフィルハーモニーも26年目を迎えて着実に力をつけ、現団員約90名の成熟しつつあるオーケストラとして益々発展を続けている。

創立当時より、大きな目標の一つに「自力演奏を目指す」ということがあり、そのために、団員一人一人の努力は勿論、演奏指導、運営に携わってきた役員・係も含め、種々な困難に対処してきた。

現在では仙台市内はもとより、宮城県内からも力のある奏者の参加を求めながら編成の充実を目指した結果、ほぼ目標に近い団員数に達しつつある。また、ここ14~15年は優秀な客演指揮者の指導を受ける機会にも恵まれ、音楽への取り組み方も向上し、高い評価を受けるまでになった。

仙台ニューフィルハーモニーでは、現在、団員を募集しております。

募集パートは、弦楽器全パート(Violin, Viola, Cello, Contrabass)です。

■練習日/毎週火曜日 19:00~21:30

■練習場所/仙台市旭ヶ丘市民センター4階ホール

■会費/月額3,000円

■連絡先/仙台ニューフィルハーモニー事務局(山路方:022-234-0701)

仙台ニューフィルハーモニー HP (<http://sendainewphil.client.jp/>)